

平成26年度

# 予算

平成26年度は市長の改選期であったため、当初予算案は人件費や公債費などの義務的経費や、継続事業にかかる経費を中心とした「骨格予算」としてまいりました。

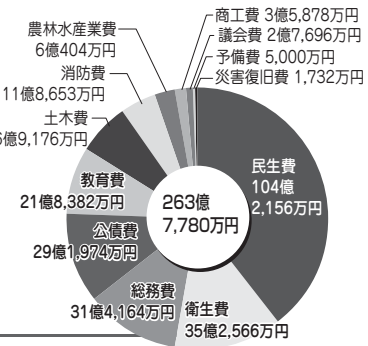
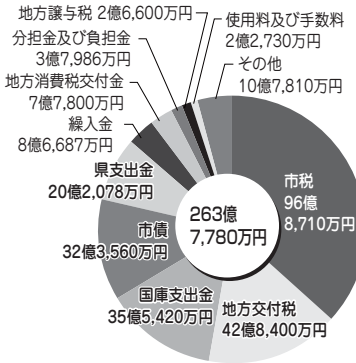
一般会計の6月補正予算では、「肉付け予算」として政策的経費や新規経費を追加するなど、14億8,680万円を増額しました。予算総額は、前年度6月補正後予算と比較して、10.7%増の263億7,780万円としています。

今号では、補正予算の主な内容をお知らせします。

【主な用語解説】

国・県支出金…使い道が限定された国や県からの補助金  
 地方交付税…使い道を限定されない国からの配分金  
 市債…市の借金  
 繰入金…基金(市の貯金)の取り崩しなど

## 一般会計歳入(6月補正後)



【主な用語解説】

民生費…高齢者・児童・障害者福祉などに支出  
 総務費…人件費や地域振興など多岐にわたって支出  
 公債費…市債返済のために支出  
 衛生費…ごみ処理や保健事業などに支出

## 一般会計歳出(6月補正後)

※金額は、万円未満を四捨五入しているため、合計額は合いません。

## その他 新規事業など

### スマートシティ推進事業 1,134万円

石油燃料への依存度を抑え、低炭素社会の実現に向けたスマートシティ構想の推進に向け、電気自動車の購入や市役所駐車場への電気自動車の急速充電設備を整備します。



導入予定の電気自動車

### 小学校跡地有効活用事業 8,600万円

平成26年3月末で閉校となった旧滝之原小学校の跡地有効活用事業として、県内の総合情報サービス企業が事業実施のために行う施設改修に対して補助をします。



### (仮称) 郷土資料館整備事業 4,300万円

平成26年3月末で閉校となった旧錦生小学校の跡地有効活用事業として、分散して保管している埋蔵文化財を集中管理し、地域の歴史文化を発信する(仮称)郷土資料館を整備します。



### コンビニ交付サービス事業 451万円

平成27年1月から、住民票などの証明書をコンビニで交付するサービスを実施する予定です。

### 社会保障・税番号制度システム整備費 1億1,345万円

国が進める社会保障・税番号制度の導入に向けて、庁内情報システムを改修します。

## 生涯現役のまちづくり

### 地域人づくり事業 5,337万円

地域の多様な人づくりを通じて、雇用拡大に取り組むため、下記の5事業を民間事業者などへ委託します。  
 ▼地域産業雇用促進・人材育成事業(2,875万円) ▼高齢者地域就業促進事業(413万円) ▼観光商品開発事業(373万円) ▼建築従事者人材育成事業(1,245万円) ▼結婚支援活動コーディネーター事業(432万円)

### 実践型地域雇用創造事業 2,600万円

人材育成・雇用の創出や地域経済活性化のための取組みを実施する名張市雇用創造協議会に対する貸付金です。

## 産み育てるにやさしいまちづくり

### 母子保健事業(名張版ネウボラ事業) 880万円

妊娠・出産・育児の切れ目のない相談支援事業を実施します。また、産後ケアを充実します。  
 ※ネウボラ…フィンランドにおける妊娠以降の切れ目のない相談の仕組み



### 家庭的保育事業 848万円

待機児童の解消に向けて、保育士の自宅などで3歳未満の乳幼児の保育を行う事業。現在3カ所で開催している事業を拡充し、新たに2カ所で開催する予定です。



### 民間保育所施設整備補助金 6億795万円

民間保育所である東部保育園の移転整備や桔梗が丘保育園の空調設備などの整備に対し補助をします。

※金額は、万円未満を四捨五入しているため、合計額が合わない場合があります。